

令和3年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和3年5月22日（土）10時から12時
- 開催場所 布佐南近隣センター
- 参加者 市民21名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、小林企画財政部長、隈市民生活部長、三澤健康福祉部長、柏木環境経済部長、南川建設部長、森都市部長
他管理職等14名

■懇談要旨

市 民：コロナ PCR 検査の件で要望書を市に提出しましたが、回答書の内容にはがっかりしました。ただ、ワクチン接種で高齢者施設の入所者や職員の接種が終わったとのことで安心しました。ぜひ、公共施設の職員や小中学校の先生方も優先してワクチン接種をするよう検討してほしいと思います。

市 長：PCR 検査は、すべての人にやるというよりは、疑わしい人にやる方が効果的と考えます。結果を早く出すには、多くの人を検査するより可能性のある人を検査するという事です。高齢者施設等の職員については、定期的に PCR 検査を行っています。ワクチンについては、毎週 16 箱、9 千人分が送付されるのですが、余った場合は施設従事者に年齢に関係なく投与しています。クラスターが発生した場所は優先に投与し、高齢者施設の後には、障害者施設等に投与していきます。登録されていない方は、登録してからになります。今後は、対象年齢を下げて投与していきますので、ご理解ください。なお、妊婦さんについては、慎重に進めてまいります。

市 民：ワクチンについて、市長や職員はすでに接種しているのでしょうか。千葉県では7月末までに接種を完了するといっていますが、我孫子市ではどうなっているのでしょうか。あと、今回の小中一貫の資料について、意見を一部抜粋となっていますが、全て載せていただきたいと思います。もう一点は、市の職員は我孫子市に住んでもらうようにしてほしい。これにより、少しでも税収と経済効果に繋がると思います。そうした場合、どの程度の経済効果になるか、おわかりであれば、教えていただきたい。あと、布佐南小学校が無くなると地域の資産価値が下がると思われます、これについては、どのように思われますか。

市 長：私はまだ接種していません。職員については、例えば名戸ヶ谷病院の余り分が出れば、高齢者と接する機会の多いケースワーカーの職員達に投与してもらおうよう、リストを挙げています。

国は7月末と言っていますが、8月1日を目標にしています。ワクチン接種が7月末に終わるかは、状況をみていかないと現段階では、正式に回答出来ません。市内にある40の病院全てで投与が出来るとなれば、可能であると思

います。ただし、これには、病院のご理解とご協力が必要になりますので、私からもお願いしております。小中一貫の資料について、自由記述の意見を全て掲載とのことですが、そのことは教育委員会に伝えます。ただ、普通は、ある程度絞って載せます。小中一貫につきましては、人口減少により税収が落ち込んでいる中で、公共施設の床下面積2割減としなければ、公共施設の維持管理が出来ないという試算がでています。また、小中一貫の方がスムーズな対応が出来ます。建物に関しては、布佐小学校の方が浸水しません。校舎建設は、水没エリアを確認しながら行う必要があります。また、中学校区で歴史や地域性を見ながら考える必要もあります。例えば、スクールバスを通す、分校方式などがそういったことであります。今年に教育委員会によるタウンミーティングが予定されておりますので、その際に、地域の皆様の意見や考えを聞いていただければと思います。校舎の建設等の予算については、市であります。教育カリキュラムについては、教育委員会となります。

市職員を我孫子市内に住むようにということは、残念ながら言えません。どこに住むかは憲法で保障されております。現在、市職員は市内に3分の2ほど住んでいて、3分の1が市外です。全員が市内にいるということになると、我孫子が災害の時に動けなくなる場合もあります。ただ、私としては、職員採用時に半分以上は市内に住んでいるようになるような形で、考えてはおります。

また、経済運営は市内だけでは出来ません。他市に行っているような情報を得ることやそこでお金を消費することにより、国全体へ波及するものであり、他市の方々が我孫子市で消費することも必要になってくるものであると考えております。

市 民：学校が地域にあることの良さ、重要さ。1クラスでも小規模でも残すべきだと思います。東地域の子供達は、学力が劣ると聞かされています。学校も無くさず、統廃合もしないでほしいと思います。

市 長：市も50周年を迎えたので、公共施設は全て老朽化してきています。維持管理の多くは、学校と市営住宅が占めています。今後2割カットをしていかなければ、維持管理は出来なくなります。そういった事も含め、分離型、一体型を検討していくということです。鉄筋の建物は建物寿命が、50年～60年あります。建設するにあたり、仮校舎を建てるのか、学校を引っ越すのか、そうなるといずれも建て替えをしなければなりません。市全体の予算の中で教育費だけを維持できるかは疑問ですので、時代にあった建て替えの状況を検討していく必要があります。将来の布佐小学校を検討していきたいですし、皆様とも協議をしていきたいと思っております。今後の教育委員会のタウンミーティングには、ぜひ参加していただきたいと思っております。

市 民：コロナワクチン接種についてですが、警察官は優先的に投与されるのでしょうか。また、65歳以上の高齢者以外の方々、若者たちはいつぐらいに投与出来るようになるのでしょうか。また、接種予約の案としては誕生日順にした方が公平ではないのでしょうか。地震対策については、我孫子市はあまりテレビ

でも出ません。震度が低いからだと思いますが。あと、ハザードマップのアンケート調査はいつになりますか。

市民生活部長：防災対策基本法の改正がありました。防災計画は全体的に見直しを行ってまいりますので、もうしばらくお待ちください。震度計につきましては、設置者は千葉県です。我孫子市震度計は市役所にあり、地震を感知すると自動でデータが千葉県に送られます。震度の測定では少数点以下まで計測されますので、ほぼ報道される震度であるのですが、小数点以下の部分で震度に達していない事から、報道されない場合があります。また、市役所のある場所は、地盤が固いということも考えられます。ご理解ください。なお、年間の震度計の定期検査では問題はないとの報告をいただいています。

市長：警察官は優先接種には入っていませんので、皆様と同じように順番に受けなければなりません。65歳以下の方については、おそらくすべてが終わるのが年明けになるのではないかと思います。6月1日号の広報に優先者の情報を掲載されておりますので、ご覧になってください。

市民：先ほど終末処理場の蓋について、説明がありましたが、全体計画が分かりません。臭いの影響を受けるのは我孫子市住民です。全体計画を明確にしてほしいと思います。

建設部長：県に要望していきます。